

平成30年度 指定管理者評価結果票

所 管 課	健康福祉部障害福祉課
評価対象期間	H30.4.1 ~ H31.3.31

1 基本情報

施設概要	名 称	岐阜県立サニーヒルズみずなみ
	所在地	瑞浪市陶町猿爪657-34
指定管理者	名 称	社会福祉法人岐阜県福祉事業団
	構 成 員	—
	所在地	岐阜市下奈良2丁目2番1号
	指定期間	H28.4.1 ~ R3.3.31
指定管理業務の内容	<ul style="list-style-type: none"> ・障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律(平成17年法律第123号)(以下「障害者総合支援法」という。)第5条第11項の規定により、身体障害者につき施設入所支援を行うとともに、施設入所支援以外の施設障害福祉サービスを行う業務。 ・障害者総合支援法第5条第8項に規定する短期入所(精神保健及び精神障害者福祉に関する法律第5条に規定する精神障害者に係るものを除く。)を行う業務。 ・施設の管理に関すること。 ・その他仕様書に定めること。 	

2 利用状況を把握するための指標

指標	利用者数 (単位:人)
H28	1,803
H29	1,698
H30	1,899

3 平成30年度の収支状況

(単位:千円)

収 入 計	304,199
利用料金	292,903
指定管理料	0
そ の 他	11,296
支 出 計	276,702
人 件 費	199,615
施設管理費	29,189
そ の 他	47,898
差 引	27,497
納 付 金	—

4 前年度の評価員会議の主な意見及び対応

前年度の評価員会議の主な意見	対応状況
・会議で話し合われたことが、更にどのような形で、どの程度実施されているかを評価する仕組みを考えられたい。	・会議等で話し合われた事等が行われていない時は、リーダーから指示を出し、実施できる環境を整える。また、次回の会議で、どの程度実施できているか確認を行っていく。
・ボランティアの受入れは清掃など労務提供型ボラに特化しており、利用者の生活を豊かにするボラ受入れが少ない。とりわけ自由な外出を支援する外出支援ボラは利用者理解やリスク管理などの研修と利用者との関係構築の体験が必要であり、ボラ育成プログラムが必要になる。それだけ施設側の努力が大事になるが担当を決めて取り組まれたらいいか。	・ボランティア育成研修に参加し、労務提供以外に利用者の生活を豊かにできるボランティアを 育成できるよう努力していく。

5 評価員会議による評価結果

評価項目	評価点 (平均点)	評価員の主な意見
管理基準の充足状況	3.2	<ul style="list-style-type: none"> ・口腔ケア研修を行い、誤嚥防止に努める等、個別支援計画を家族の意向を踏まえて策定している。 ・施設の維持管理は概ね適切。 ・さらに利用者・家族との情報の共有に努め、支援計画を充実させていくことを期待したい。
設置目的の充足状況	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者第一、「真心をもって」を実践する取り組みを行い、職員一人一人の意識改革に努めた。 ・地域の拠点施設としての目的に沿い、在宅の重度心身障害者の短期入所、日中一時など受け入れ地域ニーズに応えるよう努めた。 ・さらに地域の拠点施設としての役割と機能を果たせるよう努力が求められる。
公共性の確保の状況	3.3	<ul style="list-style-type: none"> ・食材可能な限り県産品を使用、備品に関しても可能限り県内企業を使用、雇用に関して地元の雇用促進を図った。 ・災害時緊急時の対応体制、およびBCPの対策が講じられている。 ・事件・事故の発生状況について、対応と今後の取り組みの記述方法に工夫が必要。
経営状況	3.6	<ul style="list-style-type: none"> ・収支状況は適正に見受けられる。 ・実績は積み重ねた結果で良し・悪しの積み重ねた両面の記述があると良い。
派生的効果	3.5	<ul style="list-style-type: none"> ・サニーヒルズ祭等を通じて、地域の関係機関との連携に積極的に取り組まれている。 ・地域の関係機関・団体・めざす委員の施設委員等と施設が協働を図っている。 ・利用者が施設から出での交流、地域貢献の取り組みが求められる。

<評価基準>

5	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされており、かつ特筆すべき実績・成果を上げている
4	協定書等に定める水準を上回る管理運営がなされている
3	協定書等に基づき、適切な管理運営がなされている
2	協定書等に基づき、概ね適切な管理運営がなされているが、一部に更なる工夫や改善を要する
1	改善を要する

6 県による評価結果

最終評価	評価の考え方
A	<ul style="list-style-type: none"> ・利用者1人1人とのコミュニケーションを深めることで、ニーズに合った支援ができるよう努めた。 ・地域の在宅障がい者の受入れを積極的に行うことで、地域福祉へ貢献した。 ・サニーヒルズ祭などを通じて地域との交流を積極的に行うことで、地域とのつながりを深められるよう努めた。 ・入所者それぞれのニーズに対応した適切な支援を行えるよう、引き続き検討を重ねていただきたい。

<評価基準>

S	優れた管理運営がなされており、かつ十分な実績・成果を上げている
A	優れた管理運営がなされている
B	適正な管理運営がなされている
C	改善を要する